令和３年度　自己評価および学校関係者評価書

令和４年３月２５日
函館市立湯川小学校

1　本年度の重点教育目標

・思いやりの心で　ふれあい　高め合う子

2　本年度の取組の重点

・「５つのあ+i（ＩＣＴ）」の推進（ありがとう，あいさつ，あんぜん，あとしまつ，あきらめず）
・特別支援教育の充実　・確かな学力の向上　・基本的な生活習慣の定着　・保護者や地域，関係機関との連携

3　自己評価結果に対する学校関係者評価

分　野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
学校における指導体制の充実	①教育目標等について共通理解を深め，共通意識と協働体制による学級経営や分掌運営に努めたか。	b	・「５つのあ+i」の推進および課題解決に向け，協働体制による学校経営や分掌運営を一層工夫する。	A	A	・「５つのあ+i」について，教職員や児童が共通の認識をもっていることがよい。
	②特別な支援が必要な児童への対応と指導体制の充実に努めたか。	b	・支援員や学習指導員による支援は効果的だが，必要な学級へ配置できなかった。	A	B	・個別の支援をより充実できるとよい。
確かな学力を育む教育の推進	①一人一人の確かな学力を育み，教育指導の充実・改善に努めたか。	b	・学校行事や教育課程の見直しを図り，柔軟に対応する。	A	A	・行事等の見直しや改善を図ったことは適切である。
	②分かる授業づくりに向けて研修活動に努めたか。	b	・ＩＣＴを積極的に活用し，授業改善に努める。	A	A	・ＩＣＴの活用によって児童が生き生きと学んでいる。
豊かな心を育む教育の推進	①より良い生き方を求め，豊かな心を育む道徳教育の推進に努めたか。	b	・道徳教育推進教師を中心に，道徳教育の推進を図る。	A	A	・地域人材を活用するとよい。
	②生徒指導の機能を生かし，いじめや不登校等に対して迅速・適切な対応をとったか。	b	・実態把握に努め，全教職員で共通理解を図り，より迅速な対応に努める。	A	A	・今後も適切な対応をお願いする。
健やかな体を育む教育の推進	①自ら健康で安全な生活を営む能力や態度を育ててきたか。	b	・コロナ禍ではあったが，運動する機会の確保を図った。	A	A	・可能な範囲で取り組んでいる。
	②児童の安全を守る教育と危機管理の推進と充実に努めたか。	b	・様々な事案を想定した対策を考えていく。	A	A	・感染予防の取組は適切である。
家庭・地域と連携した教育活動の推進	①ＣＳ制度の趣旨を生かし，地域・家庭とともにある学校作りの推進・充実に努めたか。	b	・総合的な学習の時間における地域学習の充実と推進を一層図る。	A	A	・コロナ禍で諸活動が制限されたが，工夫して取り組んでいる。
	②学校間の連携接続を目指し情報共有と同一歩調による取組に努めたか。	b	・中学校教員による出前授業や引継を通して，円滑な接続に努めた。	A	A	・幼小中の円滑な接続を進めてほしい。

■　自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた　（８割以上）
b	概ね達成できた　（６割以上）
c	十分ではない　（４割以上）
d	達成できなかった（４割未満）

■　自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり，取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが，若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが，若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。